

寄せられた意見

No. 73

受付日	H17. 11. 2	年齢		居住 市町村名	名寄市
件名	サンルダム建設についての意見書				

サンルダム建設についての意見書

サンルダムの建設に関して色々と議論されていると思いますが、特に新聞などでは反対されている記事ばかりが多く取り上げられ、この地域全体がダム不要と言っているように書かれていると思います。しかし、よく読むと、どの記事もどの記事も同じ団体または同じ方ばかりで、反対している人たちはごく一部の人們で、しかもダムを必要としている人たちが、そこで農業を営んでいる人たちを無視し、一方的に何がなんでも反対と言っているようにしか思えません。

ダムに変わる代案として、遊水地計画もあるようですが、そのためには中名寄の水田がその対象となるようで、それは中名寄の農業者と話し合った上で言っているのでしょうか？もし勝手なことを言っているとしたら、まったく無責任な事で、反対している事自体が地域住民の理解を得られないものと思います。

また、たしかにサンル川はサクラマスなどの産卵場所ですが、でもサンル川だけが産卵場所ではありません。名寄川流域どこでもサクラマスやヤマメなどが産卵場所にしているんじゃないでしょうか？

川の水量は、季節または気候によって大きく変わります。そのバランスをダムに水を貯える事によって調整しているものと思います。そのことが流域の産業や農業、そしてそこに住む人々の暮らしを守り、皆が安心して暮らせる生活を支えているのがダムの目的ではないでしょうか？

安易に反対ばかり言うのは、すごく危険だと思います。

ダムと人と自然が共存していく為の議論もしっかりとする事も必要ではないでしょうか？鳥や植物、魚など保護、増殖する工夫とか。下川ではすでにダム周辺に植樹などしているようですが、そんな地道な活動が大切で、目の前の現実論ではなくもっと長期的に生かせる事を考えるべきではないでしょうか？

その為には、管理者だけではなく、地域ぐるみで利用する人も一緒になって育てて行く事が必要です。


ダムと地域が協力して自然を生かし、また住民の生活を守っているダムもたくさんあると聞いています。是非、そんな事例も聞いて見たいと思います。

自分達の生活を守ることは決して破壊ではありません。たとえ100年に一回の洪水だとしても、それに備える必要はあります。ましてこの地域は農業です。その農業をしっかりと守って行かなければなりません。

私は、農業者や街の人たちの意見を聞くとダム建設に賛同している人が多いと思います。ただ残念な事に完成を望んでいる人たちの意見がマスコミに取り上げられない事で、それは目立って活動していないからです。

私は、ダム建設に向けて、農業者や多くの人たちと勉強会を行いながら、早期完成に向けて要望していきたいと思っています。

平成 17 年 11 月 2 日

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています